

概要版

平成28年度第3回野洲市都市計画審議会会議録

開催日時 平成28年10月27日(木)

午後2時から2時50分

場 所 市役所本館3階 第1委員会室

出席者 委員9名中7名

傍聴者 1人

1. 開 会

事務局(都市計画課長)から審議会成立の報告

2. 挨 拶

会長挨拶

市長挨拶

3. 審議案件

【市長から審議会に対し諮問】

(1) 大津湖南都市計画 用途地域の変更について(諮問)

資料2、資料2追加資料に基づき事務局説明

(2) 大津湖南都市計画 地区計画の決定について(諮問)

資料3に基づき事務局説明

※(1)(2)については、関連事項のため一括審議。

審議結果

(1)(2)について「原案に同意する」の旨の答申をいただいた。

(意見等)

A委員 既存の新幹線の琵琶湖側で新幹線の下は、市街化に入っているのか。

事務局 その部分は、現在市街化に入っている区域になっている。

A委員 地区計画では、入っていないがなぜか。

事務局 地区計画の範囲については、造成する部分のみとなる。

B委員 まだこれからの話だが、工場として地区計画の面積のうちどれくらいを望んでいるのか。

事務局 6.6haの全てを要望されている。

市長 これは、そもそも移転交渉の中で、向こうから正式に6haほしいということ

で、そのとおりで動いている。だからそれ以上でもそれ以下でもない。ただ、状況の変転によっては、まだ向こうに裁量権がある。ただ移転の前提としては、6ha がないと工場移転に応じない。移転に応じなければ国 8 バイパス自体が開通しないということになる。残地が出たとしても市内には、かなりのニーズが存在するので基本的にリスクは存在しない。

#### 4. 報告案件

「野洲市市街化調整区域における地区計画制度の運用基準」について

資料 4 に基づき事務局説明

**報告結果** 市街化調整区域における野洲市の課題を解決するため、関係機関と調整し、運用基準の見直しを検討することを報告する。

(意見等)

- B 委員** 住んでいる周りだけでも毎年、草が生えるのでマルチシートがされている土地がかなり増えている。今までは畑であったが、今年からはできないから古いマルチシートをした地域が増えている。その対処方法はどのようにすればいいのか悩んでいる。何か解決方法はないか。
- 事務局** その土地の状況にもよる。青地となっている場所、白地となっている場所が変わってくる。青地であれば農地以外は難しい。
- C 委員** 基本的には農地であるので、所有者がやってもらえるのが一番いいが、なければ誰かに貸すとかということで対応してもらえればよい。
- 会長** 農地と土地は一緒だが、扱うところが分かれている。都市を考える時に農地をどうするか。これは国も自治体もそうで、広いまちづくりを考えていくと、いつも農地というのは大きな問題。市街化区域内の農地もある。まちづくりを一緒に考える場があればいいと思うがどうか。
- C 委員** そういうところは、年 1 回であるが意向調査がある。農地中間管理センターもできた。
- 事務局** 農政部局とも協議し、運用基準の見直しを検討する。

#### 5. 閉会

都市建設部長挨拶

以上